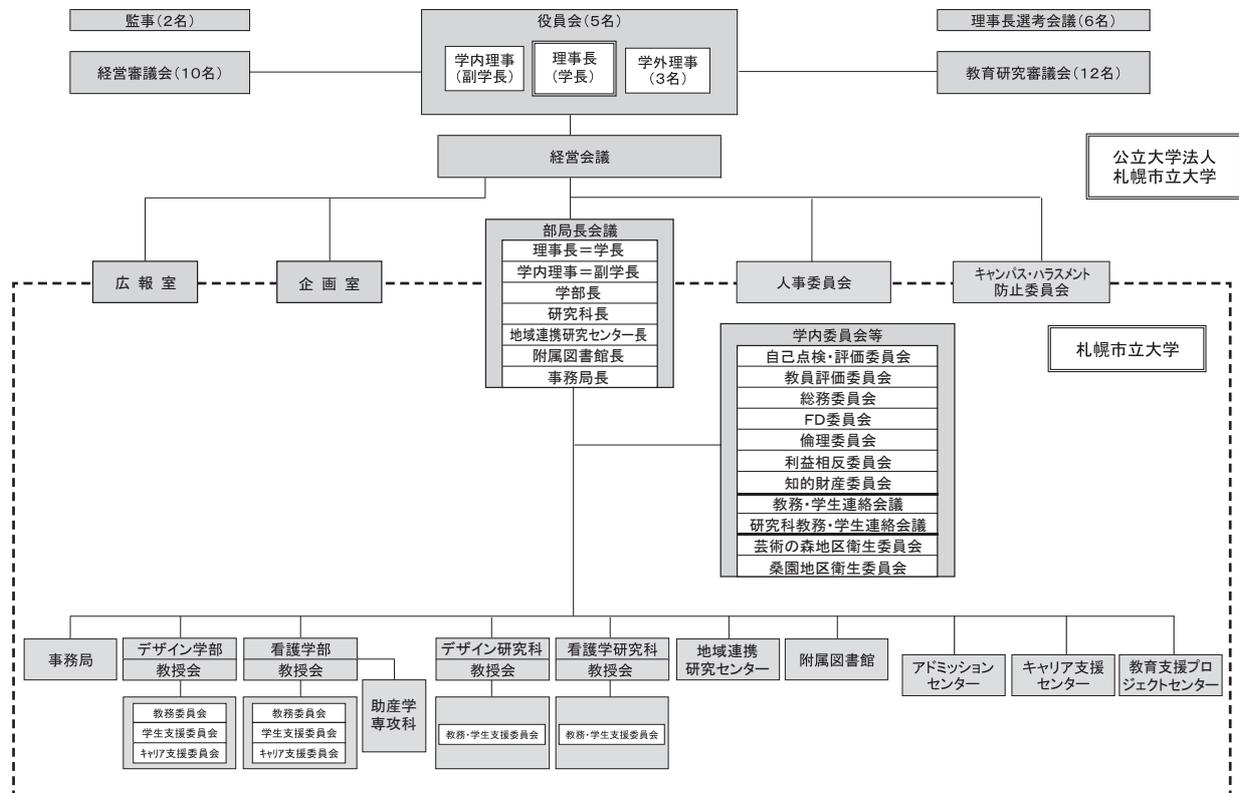




VIII 法人・学内運営の概要

1 平成29（2017）年度公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 平成28年度事業報告及び決算について (2) 平成28事業年度業務の実績に関する報告について (3) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	(1) 平成28年度事業報告及び決算について (2) 平成28事業年度業務の実績に関する報告について (3) 公立大学法人札幌市立大学名誉教授称号授与について	(1) 平成28年度事業報告及び決算について (2) 平成28事業年度業務の実績に関する報告について
第2回	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期目標（案）に対する意見について
第3回	(1) 平成30年度予算編成方針について (2) 教員の再任について	(1) 平成30年度予算編成方針について (2) 教員の再任について	(1) 平成30年度予算編成方針について
第4回	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について (2) 「大学評価結果（委員会案）」に対する意見申立について	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について (2) 「大学評価結果（委員会案）」に対する意見申立について	(1) 公立大学法人札幌市立大学第三期中期計画について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第5回	(1) 平成30年度計画及び予算について (2) 3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について (3) 学則等の改正について (4) 看護学研究科入学者選抜方法の変更について	(1) 平成30年度計画及び予算について (2) 3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について (3) 学則等の改正について (4) 看護学研究科入学者選抜方法の変更について	(1) 平成30年度計画及び予算について (2) 3ポリシー及び同窓の絆支援の方針について

3 役員及び審議会委員名簿（平成29年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	札幌市立大学 学長
理事（常勤）	樋之津 淳子	札幌市立大学 副学長 兼 看護学部長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 代表取締役社長
理事（非常勤）	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
理事（非常勤）	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	蓮見 孝	
理事	樋之津 淳子	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 代表取締役社長
理事	橋本 道政	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	川上 佳津仁	
学外委員	菊嶋 明廣	札幌商工会議所 専務理事
学外委員	酒井 裕司	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	秋野 豊明	溪仁会グループ 会長
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究科 教授



3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	蓮見 孝	
理 事	樋之津 淳子	
理 事	山岸 正美	株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ 代表取締役
デザイン学部長	細谷 多聞	
デザイン研究科長	城間 祥之	
看護学研究科長	松浦 和代	
附属研究所長	上遠野 敏	
附属図書館長	宮崎 みち子	
事務局 長	川上 佳津仁	
学 外 委 員	池田 官司	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	上田 順子	公益社団法人北海道看護協会 会長
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学 名誉教授

任期：平成31年3月31日まで

4 経営会議

平成29年度は14回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月5日	なし
第2回	4月18日	(1) 第三期中期計画 計画予算見積調書に係る第一次提出の修正及び第二次提出について (2) 第三期中期計画の各項目（案）について
第3回	5月11日	(1) 高度実践看護師教育課程 専門看護師（CNS）コース38単位申請について
第4回	5月31日	(1) 平成29年度前期授業料減額免除について (2) 平成28年度年度計画の実績報告に係る点検状況について (3) 平成28年度決算について
第5回	7月4日	(1) 第三期中期計画（各項目案）について
第6回	7月5日	(1) 第三期中期計画（各項目案）について
第7回	7月18日	(1) 平成28事業年度実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第8回	8月9日	(1) 札幌市法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第9回	9月4日	(1) 第三期中期目標（案）に対する意見の有無について (2) 第三期中期計画（案）について
第10回	9月6日	(1) 第三期中期計画（案）について
第11回	10月3日	(1) 第三期中期計画（案）について



回数	開催日	議題
第12回	10月4日	(1) 第三期中期計画（案）について
第13回	10月30日	(1) 第三期中期計画（案）について
第14回	11月1日	なし
第15回	12月6日	(1) 学部・研究科 成績評価に係る標語の変更について (2) 第三期中期計画（案）について
第16回	12月22日	(1) 大学評価結果（委員会案）に対する意見申立について
第17回	1月11日	(1) 平成30年度入学式及び卒業式・修了式の日程について
第18回	2月7日	(1) 授業料減額免除に係る規則改正について (2) 承德医学院との学術交流協定の更新について (3) 情報セキュリティポリシー対策基準及び実施手順について
第19回	2月26日	(1) 平成30年度年度計画（案）について
第20回	3月7日	(1) 学則・規則等の改正について (2) 大学評価及び自己点検・評価を踏まえた今後の対応について (3) 情報セキュリティポリシー対策基準及び実施手順について (4) 平成30年度主要会議予定表について (5) 平成30年度学内委員会等について
第21回	3月16日	(1) 学則・規則等の改正について (2) 平成30年度学内委員会等の編成について (3) 平成33年度（2021年度）入試以降の札幌市立大学デザイン学部入学者選抜試験について (4) 平成33年度以降の市立大入学者選抜試験の変更について

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織であり、平成29年度は「全学ポリシー策定部門」及び「教育改革部門」を設置した。平成29年度の会議の開催数は、企画室が1回、両部門会議が10回（同時開催）であった。

主な活動として、障害者差別解消法に伴う教職員の対応要領の策定に向けた検討、同窓の絆支援の方針策定に向けた検討、各学部3ポリシーの見直しを行った。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管しており、平成29年度は広報室の運営効率化を図るため、広報室内に制作実務を担当する「広報制作チーム」を設置した。平成29年度の会議の開催数は、広報室が2回、広報制作チームが10回であった。

主な活動として、2018年度版大学パンフレットの発行及び2019年度版大学パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新を行った。また、北海道新聞への広告掲載や道新プラザDO-BOXにおける教員の研究成果展示会等のメディア展開を行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成29年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。



また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成29年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成29年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を11回開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成29年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門、紀要編集委員会の3セッションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、国際交流活動、研究活動推進に関する活動を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした29コース49コマ（うちCOC関連17コース34コマ）の講座を、延べ1,177名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として5コマ134名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活ゼミナール」を開催。様々な研究や技術支援の成果の一部を、見て触って体験できる展示等で紹介し、1,687名の方の目に触れることができた。

また、公開講座の体系として設定している大項目「一般市民向け」「専門職向け」、中項目「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」、小項目「デザイン学部4コース」「看護学部9領域」「共通教育」における実施状況を把握しながら企画運営を行った。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構への視察交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、下記の通り推進した。

「学生の国際化」



本学主催の日台デザイン合同ワークショップを壮瞥町で開催し、華梵大学、台中科技大学、雲林科技大学の学生との交流を図った。また、承德医学院での短期派遣プログラムやラップランド大学での国際交流学生デザインワークショップへの学生派遣、KPJ Healthcare University College (KPJ) の学生受入れを実施した。KPJの学生受入れにおいては、本学学生による主体的な交流企画により、積極的な交流を図った。さらに、華梵大学からの特別聴講学生の受入れ、ラップランド大学からの特別聴講学生の受入れを行った。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

「提携校との交流の活性化」

ラップランド大学とのトナカイワークショップを実施したほか、清華大学主催のデザインコンペに学生が応募し、同大学でのワークショップに招待されるなどの交流を行った。また、華梵大学、承德医学院大学と学生の相互派遣を例年通り実施した。

「海外とのネットワーク化」

将来的な提携可能性の検討、交流促進等を目的として、Pacific Northwest Collage of Art (PNCA)、台中科技大学へ教員を派遣した他、康寧大学主催の国際シンポジウムへ教員が参加した。

< 紀要編集 >

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第11巻」を平成29年7月に発行した。また、第12巻を平成30年7月に発行することとし、投稿論文の査読を行った。

< 研究推進 >

地域や産業界等から依頼された受託研究9件、共同研究2件、寄附金4件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を改善した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 附属図書館

平成29年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館利用の活性化、図書館予算、データベース・電子ジャーナルの契約方針、購読雑誌の契約検討、長期休業期間の長期貸出、寄贈受入れ、督促フローの修正、等であった。

芸術の森キャンパス・ライブラリ部会では、芸術の森キャンパス・ライブラリーの利用活性化のため、新着図書案内（立体的な展示、メールマガジンの配信）や芸術の森図書館情報誌「ほんわか」の発行、ほんわか掲載お薦め本展示コーナーの設置、春期・夏期休業期間の長期貸出、デジタルサイネージの設置、飲食コーナーの試行を行った。

この他、北海道地区大学図書館協議会相互利用促進事業運営委員会の委員館をつとめた。

芸術の森図書館では、アートブックフェアへ参加（11月6日～12月2日）、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（1月15日～2月23日）した。

11 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成29年度は計11回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。



また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

さらに、アドミッションポリシーの変更について検討したほか、高大接続改革に係る平成33年度入試変更についての検討も開始した。

12 キャリア支援センター

キャリア支援センターは、両学部に関係するキャリア支援の改善・充実を目的として、平成20年4月に設置され、両学部のキャリア支援委員会において、各学部の特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に係わるプロジェクト等を所管しており、「COC+部門」「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、平成29年度は12回開催した。

平成29年度の主な活動として、認証評価に係る実地調査への対応準備や平成28年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成29年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

2) 教員評価委員会

平成29年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証を行った。

評価結果については、平成29年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用した。

3) 総務委員会

平成29年度は9回の委員会を開催した。

委員会では、キャンパス活用等に関するプラン案を策定し、バリアフリー化を推進した。また、情報セキュリティポリシー対策基準の見直しを行った。

なお、昨年を引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を9回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて内容を検討し、実施した。

5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

平成29年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。



平成24年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っている。

年間の審査申請総数は49件であり、1回当たり平均4.1件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、平成23年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

平成26年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、平成27年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、他大学の大学教授1名を追加で委嘱した（平成29年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、平成28年度に設置された。

平成29年度は委員会を2回開催し、利益相反自己申告書2件について審議を行った。その他、川嶋史絵氏（東北大学利益相反マネジメント事務室長）を招き、FDとして「利益相反マネジメント研修会」を開催した。

7) 知的財産委員会

知的財産委員会は、平成29年度に5回開催し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。また、「産学連携知的財産アドバイザー派遣プログラム（工業所有権情報・研修館主催）」へ「北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワーク」として参加した。当該事業から派遣される知的財産アドバイザーの支援を受け、外部企業との特許共同出願1件、専用実施権契約の締結及びこれに伴う特許の審査請求1件、既に専用実施権契約を締結している案件の製品化に向けた検討1件等の活動を行った。

8) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成29年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、授業評価アンケートの見直し、成績評価状況の確認等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

9) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成29年度に6回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習の効果検証、院生研究支援費、シラバスや履修の手引き等に関する事項について審議した。



15 構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 上遠野 敏 宮崎 みち子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	企画室	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 宮崎 みち子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
	広報室	◎蓮見 孝 細谷 多聞 上遠野 敏 川村 三希子 安齋 利典 菅原 美樹 本田 光 石田 勝也 福田 大年 森川 由紀 川上 佳津仁 阿部 大	理事長 デザイン学部長 地域連携研究センター長 看護学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 事務局長 事務局次長 兼 桑園事務室長
	人事委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防 止委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 川上 佳津仁	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上遠野 敏 原 俊彦	地域連携研究センター長 デザイン学部教授



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	小田 和美 椎野 亜紀夫 張 浦華 古都 昌子 大野 夏代 渡邊 由加利 小宮 加容子 福田 大年 大島 卓 小坂 美智代 三上 智子 柏倉 大作 阿部 大 上田 理子	看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局地域連携課長
	図書館	◎宮崎 みち子 町田 佳世子 武田 亘明 松井 美穂 藤木 淳 神島 滋子 伊東 健太郎 檜山 明子 上田 理子	附属図書館長 兼 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 中原 宏 猪股 千代子 川上 佳津仁	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
	アドミッションセンター	◎樋之津 淳子 細谷 多聞 宮崎 みち子 羽深 久夫 斉藤 雅也 上村 浩太 大淵 一博 須之内 元洋 工藤 京子 矢野 祐美子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 附属図書館長 兼 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	キャリア支援センター	樋之津 淳子 ◎細谷 多聞 安齋 利典 小田 和美 阿部 大	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	樋之津 淳子 細谷 多聞 ◎松浦 和代 城間 祥之 宮崎 みち子 斉藤 雅也 阿部 大 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 看護学研究科長 デザイン研究科長 附属図書館長 兼 助産学専攻科長 デザイン学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長
		教員評価委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 細谷 多聞 城間 祥之 松浦 和代 石井 雅博 定廣 和香子 川上 佳津仁 学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 猪股 千代子 山田 良 高井 真希子 菅原 美樹 山本 真由美 金子 晋也 ◎川上 佳津仁 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 デザイン学部助教 事務局長
		FD委員会	◎上遠野 敏 羽深 久夫 猪股 千代子 張 浦華 渡邊 由加利 片山 めぐみ 原井 美佳 櫻井 繭子 福原 啓祐 布廣 成規 地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎宮崎 みち子 原 俊彦 矢部 和夫 喜多 歳子 武田 亘明 藤井 瑞恵 田中 広美 上田 理子 附属図書館長 兼 助産学専攻科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局地域連携課長
		利益相反委員会	◎蓮見 孝 樋之津 淳子 川上 佳津仁 理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
		知的財産委員会	◎上遠野 敏 原 俊彦 地域連携研究センター長 デザイン学部教授



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	知的財産委員会	小田 和美 椎野 亜紀夫 古都 昌子 阿部 大 上田 理子	看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 事務局地域連携課長
	学部間	教務・学生連絡会議	樋之津 淳子 ◎細谷 多聞 中原 宏 原 俊彦 吉田 和夫 定廣 和香子 川村 三希子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
連絡調整会議		研究科間	◎城間 祥之 松浦 和代 石井 雅博 猪股 千代子 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	衛生委員会	芸術の森地区衛生委員会	柿山 浩一郎 金 秀敬 ◎阿部 大	デザイン学部准教授 デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長
桑園地区衛生委員会		本 田 光 近藤 圭子 田仲 里江 ◎阿部 大	看護学部准教授 看護学部助教 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長	
学部委員会	デザイン学部	教務委員会	◎中原 宏 若林 尚樹 柿山 浩一郎 松井 美穂 山田 良 石田 勝也 松永 康佑 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎吉田 和夫 武田 亘明 三谷 篤史 山田 信博 藤木 淳 高井 真希子 大島 卓	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎安齋 利典 椎野 亜紀夫 大淵 一博	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部	キャリア支援委員会	金 秀 敬 小宮 加 容子 須之内 元洋 金子 晋也	デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	看護学部	教務委員会	◎定 廣 和 香子 喜多 歳 子 上村 浩 太 大野 夏 代 神島 滋 子 伊東 健 太郎 小坂 美 智代 檜山 明 子 矢野 祐 美子 山内 まゆみ 石引 かずみ 柏倉 大 作 中田 亜 由美 渋谷 友 紀	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
		学生支援委員会	◎川村 三 希子 古都 昌 子 本田 光 村松 真 澄 守村 洋 工藤 京 子 三上 智 子 山本 真 由美 近藤 圭 子 御厩 美 登里	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教
		キャリア支援委員会	◎小田 和 美 貝谷 敏 子 櫻井 繭 子 田中 広 美 原井 美 佳 森川 由 紀 田仲 里 江 大友 舞 星 幸 江	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助手 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科	教務・学生支援委員会	◎石井 雅 博 上遠野 敏 安齋 利 典 町田 佳 世子 斉藤 雅 也 山田 信 博 三谷 篤 史 松永 康 佑	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科	研究科倫理審査会	◎矢部 和夫 原 俊彦 片山 めぐみ 金 秀敬 阿部 大	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長
	看護研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 菊地 ひろみ 村松 真澄 守村 洋 貝谷 敏子	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授
		研究科倫理審査会	◎菊地 ひろみ 藤井 瑞恵 山内 まゆみ 阿部 大	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 事務局次長 兼 桑園事務室長

◎印：所管部局長等



16 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要

(単位：名)

全学FD・SD		研修会名	場所	参加者数
5月15日・23日	FD	新任教員を対象とした本学COC事業概要に係る研修	COCキャンパスまこまる2階B室	8
8月29日	FD/SD	2017年度札幌市立大学研究交流会	芸術の森キャンパス	79
2月8日	FD/SD	利益相反マネジメントについて	芸森:大講義室桑園:大会議室	34

(単位：名)

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名(講師)	場所	参加者数
4月4日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて	芸森: 大学院棟1階	19
6月21日	FD/SD	授業評価アンケート分析よりみた授業改善方策の検討	芸森:大会議室	32
9月15日	FD/SD	デザイン基盤科目の教育内容と成果	芸森:大会議室	32
9月20日	FD/SD	デザイン学部への入学実績の多い高等学校における進路指導の状況	芸森:大会議室	27
10月18日	FD/SD	小樽商科大学における地域連携PBLの事例報告	芸森:大会議室	35
3月22日	FD/SD	図書館へ行こう!?図書館の授業等での利活用の意義と勧め?	芸森:大会議室	21

(単位：名)

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名(講師)	場所	参加者数
5月12日	FD	これからの看護学研究を担う若手研究者、大学院生へ向けて～学際的な調査研究を通して学んだこと	桑園:大学院棟1階大講義室	36
10月18日	FD/SD	役立つ!学生のメンタルヘルス～学外FD伝達研修	桑園:大会議室	40
12月21日	FD	模擬患者養成についての今後を考える	桑園:大会議室	33
1月17日	FD/SD	看護学教育モデル・コア・カリキュラムと看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標(案)の考え方	桑園:大会議室	36
2月27日	FD/SD	SCU看護キャリアデータベースの現状と今後の展望	桑園:講義室4	27
3月8日	FD/SD	模擬患者参画型演習の教育効果を共有しよう	桑園:講義室5	26
3月22日	FD/SD	看護研究支援活動を通じた病院との関係構築の取り組みの成果と課題	桑園:大会議室	30



(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月6日	新採用職員研修	札幌市立大学 総務課	2
5月12日	公立大学に関する基礎研修	外部	1
5月25日	旅費事務研修	外部	1
6月9日	アングーマネジメント研修	外部	1
6月13日、14日	契約事務研修（基礎編）	外部	7
6月13日、14日	契約事務研修（物品編）	外部	4
6月23日、27日	契約事務研修（役務編）	外部	3
6月23日、27日	契約事務研修（役職者編）	外部	4
6月29日	若手・中堅社員のためのヒューマンスキル向上講座	外部	1
7月4日	伝わるビジネス文書・使える報連相	外部	1
7月7日	ロジカルプレゼンテーションセミナー	外部	1
7月10日～12日	公立大学職員セミナー	外部	1
7月11日	段取り研修	外部	2
7月13日	タイムマネジメント研修	外部	1
7月20日	施設管理研修	外部	1
7月28日	予算決算事務研修	外部	14
8月24日	ビジネスに活かす「コーチングコミュニケーション」	外部	1
8月29日	若手社員を育てる効果的な仕事の伝え方	外部	1
9月11日～13日	公立大学法人会計セミナー	外部	1
9月19日～20日	公立大学中堅職員研修	外部	1
10月26日	新たな課題にチャレンジするための業務効率化セッション	外部	1
12月13日～15日	国立大学法人等実務担当者向け財務会計研修	外部	1